

仁淀川地域アクションプランの 追加・削除・拡充等（予定項目）

仁 淀 川 地 域 本 部
令和8年1月29日（木）

地域アクションプランの令和8年度の追加・削除等項目（案）

地域アクションプランの支援の方向性

地域アクションプランの目標の達成に向けて、産業振興推進地域本部を中心に、事業者等の取り組みをきめ細かく支援する。あわせて、市町村等と連携し、地域の新たなチャレンジをしっかりと伴走支援していく。

（1）地域アクションプランの実行支援

- ① 今後産振補助金の活用が見込まれる事業者の事業計画作成を支援。必要に応じて産業振興アドバイザーを投入。
- ② 雇用奨励金事業の活用促進に向け、事業者や市町村への周知を徹底するとともに、活用が見込まれる事業者への支援を強化。

（2）地域の新たなチャレンジを支援

- ① 引き続き、市町村や商工会等と連携し、地域の新しい動きに関する情報収集に努めるとともに、起業を目指す地域おこし協力隊等への個別訪問等により、地域の新たなチャレンジを支援。
- ② 地域に若者の雇用を生み出すため、地域アクションプランのあり方について検討。

地域アクションプランの増減 R7年度 156件 → R8年度 155件

（1）追加（新規）： 1件

- 地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化（日高村）



（2）削除（廃止）： ▲ 1件

- 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化（四万十市）

（3）統合： 2件 → 1件

- ～しまんとがわのまんなか～四万十町観光交流促進事業（四万十町）
- 四万十町観光交流拠点施設の整備（四万十町）

	R7年度 (第5期ver.2)	R8年度 (第5期ver.3)				AP数
	AP数 R8.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	20					20
物部川	19					19
高知市	14					14
嶺北	16					16
仁淀川	33	1			1	34
高幡	24			(2→1) ▲ 1	▲ 1	23
幡多	30		▲ 1		▲ 1	29
合計	156	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	155

仁淀川地域アクションプラン項目（第5期計画ver.2（R7年度）と 第5期計画ver.3（R8年度）の対比表）

【仁淀川地域】

No.	現在(令和7年度)	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
		9	9	11	7	5	8
1	仁淀川流域の薬用作物の生産性の向上による産地振興			●	●	●	●
2	日高村まるごとブランド化						●
3	いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト		●				
4	本川手箱きじの販路拡大		●				
5	越知町における食用山椒の産地振興					●	
6	仁淀川流域における特用林産物の生産拡大	●	●	●	●	●	●
7	佐川町における自伐型林業の推進と地域の活性化				●		
8	宇佐の一本釣りうるめいわし等の鮮魚加工品の販路拡大と地域の活性化	●					
9	土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興	●					
10	「土佐和紙」の販売促進	●	●	●			●
11	土佐市における木毛(もくめん)を核とした製品の販路拡大とブランド化	●					
12	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	●					
13	いの町中心市街地の活性化		●				
14	地域産品を活用した冷菓等の販路拡大		●				
15	日高村におけるクラフトビール工房を軸にした交流人口の拡大と地域の活性化						●
16	仁淀川町におけるクラフトビールを軸にした交流人口の拡大と地域の活性化			●			
17	仁淀川町における(株)フードブランを核とした野菜の産地形成と販売拡大			●			
18	仁淀川町の基幹産業である茶の6次産業化の推進			●			
19	仁淀川町「池川こんにやく」の生産拡大による地域の活性化			●			
20	仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化			●			
21	さかわの地乳(ぢちち)ブランドの再構築による販路拡大				●		
22	「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化				●		
23	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
24	土佐市における体験型観光と食観光の推進	●					
25	観光交流施設「南風」を核とした新居地区の活性化	●					
26	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進		●				
27	いの町本川地区での山岳観光の推進		●				
28	仁淀川町滞在交流型観光の推進			●			
29	仁淀川町アウトドアリゾートプロジェクト			●			
30	佐川町の歴史と文化を生かした観光の推進				●		
31	越知町の「アウトドアなまち」体験型観光の推進					●	
32	日高村の地域資源を生かした体験型観光等の推進						●
33	日高村能津地区における交流人口の拡大と地域の活性化						●

No.	改定案(令和8年度)	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
		9	9	11	7	5	9
1	仁淀川流域の薬用作物の生産性の向上による産地振興			●	●	●	●
2	日高村まるごとブランド化						●
3	いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト		●				
4	本川手箱きじの販路拡大		●				
5	越知町における食用山椒の産地振興					●	
6	仁淀川流域における特用林産物の生産拡大	●	●	●	●	●	●
7	佐川町における自伐型林業の推進と地域の活性化				●		
8	宇佐の一本釣りうるめいわし等の鮮魚加工品の販路拡大と地域の活性化	●					
9	土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興	●					
10	「土佐和紙」の販売促進	●	●	●			●
11	土佐市における木毛(もくめん)を核とした製品の販路拡大とブランド化	●					
12	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	●					
13	いの町中心市街地の活性化		●				
14	地域産品を活用した冷菓等の販路拡大		●				
15	日高村におけるクラフトビール工房を軸にした交流人口の拡大と地域の活性化					●	
16	地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化					●	
17	仁淀川町におけるクラフトビールを軸にした交流人口の拡大と地域の活性化			●			
18	仁淀川町における(株)フードブランを核とした野菜の産地形成と販売拡大			●			
19	仁淀川町の基幹産業である茶の6次産業化の推進			●			
20	仁淀川町「池川こんにやく」の生産拡大による地域の活性化			●			
21	仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化			●			
22	さかわの地乳(ぢちち)ブランドの再構築による販路拡大				●		
23	「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化				●		
24	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
25	土佐市における体験型観光と食観光の推進	●					
26	観光交流施設「南風」を核とした新居地区の活性化	●					
27	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進		●				
28	いの町本川地区での山岳観光の推進		●				
29	仁淀川町滞在交流型観光の推進			●			
30	仁淀川町アウトドアリゾートプロジェクト			●			
31	佐川町の歴史と文化を生かした観光の推進				●		
32	越知町の「アウトドアなまち」体験型観光の推進					●	
33	日高村の地域資源を生かした体験型観光等の推進						●
34	日高村能津地区における交流人口の拡大と地域の活性化						●

追加

仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	<p>地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化(日高村)</p> <p>【実施主体】 ◎(株)ひだか林業&ITS、日高村</p>	<p>日高村の豊富な未活用バイオマス資源(林地残材、竹材、トマト茎葉、食品残渣等)を粉炭として有価物化し、土壌改良、水質浄化、食品添加物、災害時エネルギーなど多様な用途で、県内外への販路拡大を目指すとともに、資源循環を図り、地域の活性化につなげる。</p>

■削除

なし

■その他(拡充、統合、分割等)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 10 「土佐和紙」の販売促進(土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>【実施主体】 ◎手すき和紙協同組合、◎高知県製紙工業会、◎いの町紙の博物館</p>	<p>【修正】 手すき和紙協同組合の若手組合員等が中心となり、情報発信、販路拡大、後継者育成の強化を目的として、令和7年11月に土佐和紙振興会を設立したため、実施主体に追加する。</p>
2	<p>No. 20 仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化(仁淀川町)</p> <p>【実施主体】 ◎(株)高知ウイスキー、仁淀川町</p>	<p>【修正】 蒸留施設の整備で活用する総務省の地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)の交付決定を受け事業計画が承認されたため、「ジン・ウイスキー売上高」のR9目標値(3,639万円)を設定する。</p>

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.16 地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化 (日高村)
実施主体	◎(株)ひだか林業&ITS、日高村
APへの位置づけ	R8.4月
事業概要	日高村の豊富な未活用バイオマス資源(林地残材、竹材、トマト茎葉、食品残渣等)を粉炭として有価物化し、土壌改良、水質浄化、食品添加物、災害時エネルギーなど多様な用途で、県内外への販路拡大を目指すとともに、資源循環を図り、地域の活性化につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
粉炭の売上高	-	-	-		18百万円

※会計年度：10月～9月

	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
粉炭の製造販売及び体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 日高村の地域おこし協力隊として起業に向けた活動を行う(R3～R5) 株式会社ひだか林業&ITSを創業(R5.7)し、間伐材収集事業を展開、林業家や建設会社など地域内約40社の事業者と信頼関係を構築し、年間約1,000トンの間伐材の売買取引を開始(R5～) 間伐材を取り扱う中で、大量の枝葉や林地残材等の未活用や放置が進む状況について、解決策を模索(R5～) 水分量の多い枝葉やトマト農家が剪定した茎葉などの未活用バイオマス資源を効率的に炭化可能な「山仙ブル式炭化平炉」((有)山本粉炭工業の特許技術)に着目し、導入を決定(R6) 技術導入に向け、(有)山本粉炭工業での実地研修を実施(R7.2～R7.7) 工業技術センターへ試料を提供し、成分分析を実施(R7.6) 施設整備のため、総務省地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000)に申請(R7.6) 採択・交付決定(R7.9) 施設整備を実施(R8.1) 製造販売の開始予定(R8.2) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原料調達に向けた事業者との関係性を構築し、年間約1,000トンの間伐材の売買取引が成立 研修や施設整備に係る補助金手続きなど、事業実施に向けた手続きが着実に進行中 施設整備を開始 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販路拡大に向けた根拠データの収集 安定した販路の確保および拡大に向けて、粉炭の品質の安定や、用途の異なる粉炭を製造するための技術の向上が必要
販路拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 販路については、約35年の販売実績を持つ(有)山本粉炭工業の既存の販売ルートを事業承継により引き継ぐ。 活用状況等によるデータ収集のため、未活用のバイオマス資源を提供する村内事業者が粉炭を活用し、農作物の生育に与える効果等を検証するための試験栽培を計画 工業技術センターへ試料を提供し、カロリーや組成などの成分分析を実施(R7.6) 安定した販路確保および拡大に向けて、粉炭の品質の安定や、用途の異なる粉炭を製造するための技術の向上が必要 	

第5期計画における行程表

事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>粉炭の製造販売及び体制の強化</p> <p>■(株)ひだか林業&ITS</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を整備し、未活用バイオマスを活用した粉炭の製造・販売を開始 製品品質の安定に向けた、専門家による技術向上研修の受講(原料の種類や含水率に応じて、高度な燃焼調整技術が必要不可欠) <p>□県(産業政策課、地域本部、工業技術センター等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度の活用、各種支援制度に関する情報提供 粉炭の成分分析及び活用方法に応じた評価 <p>人員体制の強化</p> <p>■(株)ひだか林業&ITS</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな人材の確保、連携(地域おこし協力隊等) <p>□日高村、県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊等の導入の検討、人材確保に向けた情報提供 		<p>施設整備</p>	<p>粉炭の製造・販売</p> <p>技術向上研修受講</p> <p>人材の確保</p>	
<p>粉炭の販路拡大に向けた取り組み</p> <p>■(株)ひだか林業&ITS</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用状況等によるデータ収集のため、村内事業者と連携した農作物等の試験栽培の実施 食品添加物等、土壌改良材以外の用途活用に向けた製造技術の向上 活用用途に合わせた原材料の調達ならびに調達量の拡大 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度の活用、各種支援制度に関する情報提供 			<p>試験栽培</p> <p>粉炭製造技術向上に向けた取組</p> <p>原材料調達量拡大</p>	

仁淀川地域アクションプラン

分野 水産業

AP名 (実施地域)	No.9 土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興 (土佐市)
実施主体	◎(株)土佐マリンベース、和光商事(株)
APへの位置づけ	R3.4月
事業概要	(株)土佐マリンベースが養殖魚(ブリ、マダイ、カンパチ)の産地加工体制を構築するとともに、マーケットニーズに合わせた商品開発や国内外への販路開拓等に取り組むことで、養殖業等の振興、地元雇用の創出及び地元産品の利用拡大につなげる。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
産地加工体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 水産加工施設の整備 (R3) →水産加工施設等整備事業費補助金の活用 →輸出拡大施設整備等事業費補助金の活用 水産加工施設の本格稼働開始 (R4.6) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> R3年度に加工施設を整備し、R4年6月から本格稼働を開始 ⇒20名の雇用を創出(正規17名、パート3名、R5年度末) 県内事業者と連携して開発した商品の販売が開始 (R5) 量販店と連携した商品開発は進行 (R5) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国向け商品の生産に必要な機器等の整備 加工技術の習熟と、衛生管理の強化 米国などのマーケットニーズに対応した商品の開発(加工度の高い商品等) 自社製品が少なく受託加工が中心 営業力不足、販路の開拓
商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> 県内事業者と連携した新商品の開発 量販店向け商品の開発 水産物輸出促進コーディネーターを通じた国内商社への商品開発の相談 	<ul style="list-style-type: none"> 米国向け HACCP 及び FDA 施設登録を取得 (R5.11) ベトナム向け施設登録が完了 (R5)
国内外への販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> HACCP 導入のためのアドバイザーの招へい及び社内研修 (R4.9) 輸出のための施設登録の作業の実施 (R5 見込み) 国内外の展示会への出展 R4:国内(4回)、国外(米国1回) R5:国内(5回)、国外(米国1回) R6:国内(4回)、国外(米国1回) 水産物輸出促進コーディネーターと連携した国内商社への商品提案 	<ul style="list-style-type: none"> 米国向け商品の生産に必要な機器等の整備 加工技術の習熟と、衛生管理の強化 米国などのマーケットニーズに対応した商品の開発(加工度の高い商品等) 自社製品が少なく受託加工が中心 営業力不足、販路の開拓

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	0.9億円 (R4)				5.9億円

※会計年度：3月～2月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>加工体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 新たな機器整備等による加工体制の強化 □県 <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金の活用提案 <p>生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 新たな人材の雇用・育成 MEL、ISO 認証の取得 □県 <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金の活用提案 				
<p>商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 県内事業者や量販店等と連携した商品の開発 ふるさと納税商品や米国向け商品等の開発 □県 <ul style="list-style-type: none"> 水産物輸出促進コーディネーターと連携したマーケットニーズの提供 産振アドバイザー制度の活用提案 				
<p>国内外への販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 市場調査の実施 国内外の展示商談会への出展 県内事業者と連携した販路の開拓・拡大 □県 <ul style="list-style-type: none"> 展示商談会等の情報提供 水産物輸出促進コーディネーターや海外サポーターによる国内外商社との商談機会の創出 				

仁淀川地域アクションプラン

分野 水産業

AP名 (実施地域)	No.9 土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興 (土佐市)
実施主体	◎(株)土佐マリンベース、和光商事(株)
APへの位置づけ	R3.4月
事業概要	(株)土佐マリンベースが養殖魚(ブリ、マダイ、カンパチ)の産地加工体制を構築するとともに、マーケットニーズに合わせた商品開発や国内外への販路開拓等に取り組むことで、養殖業等の振興、地元雇用の創出及び地元産品の利用拡大につなげる。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
産地加工体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 水産加工施設の整備 (R3) →水産加工施設等整備事業費補助金の活用 →輸出拡大施設整備等事業費補助金の活用 水産加工施設の本格稼働開始 (R4.6) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> R3年度に加工施設を整備し、R4年6月から本格稼働を開始 ⇒20名の雇用に創出 (正規17名、パート3名、R5年度末) 県内事業者と連携して開発した商品の販売が開始 (R5) 量販店と連携した商品開発は進行 (R5) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国向け商品の生産に必要な機器等の整備 加工技術の習熟と、衛生管理の強化 米国などのマーケットニーズに対応した商品の開発(加工度の高い商品等) 自社製品が少なく受託加工が中心 営業力不足、販路の開拓
商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> 県内事業者と連携した新商品の開発 量販店向け商品の開発 水産物輸出促進コーディネーターを通じた国内商社への商品開発の相談 	<ul style="list-style-type: none"> 米国向け HACCP 及び FDA 施設登録を取得 (R5.11) ベトナム向け施設登録が完了 (R5)
国内外への販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> HACCP 導入のためのアドバイザーの招へい及び社内研修 (R4.9) 輸出のための施設登録の作業の実施 (R5) 国内外の展示会への出展 R4:国内(4回)、国外(米国1回) R5:国内(5回)、国外(米国1回) R6:国内(4回)、国外(米国1回) 水産物輸出促進コーディネーターと連携した国内商社への商品提案 ・米国及び台湾への輸出開始(R7) 	<ul style="list-style-type: none"> 米国向け商品の生産に必要な機器等の整備 加工技術の習熟と、衛生管理の強化 米国などのマーケットニーズに対応した商品の開発(加工度の高い商品等) 自社製品が少なく受託加工が中心 営業力不足、販路の開拓

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	0.9億円 (R4)	0.5億円			5.9億円

※会計年度：3月～2月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>加工体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 新たな機器整備等による加工体制の強化 □県 <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金の活用提案 <p>生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 新たな人材の雇用・育成 MEL、ISO 認証の取得 □県 <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金の活用提案 				
<p>商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 県内事業者や量販店等と連携した商品の開発 ふるさと納税商品や米国向け商品等の開発 □県 <ul style="list-style-type: none"> 水産物輸出促進コーディネーターと連携したマーケットニーズの提供 産振アドバイザー制度の活用提案 				
<p>国内外への販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)土佐マリンベース <ul style="list-style-type: none"> 市場調査の実施 国内外の展示商談会への出展 県内事業者と連携した販路の開拓・拡大 □県 <ul style="list-style-type: none"> 展示商談会等の情報提供 水産物輸出促進コーディネーターや海外サポーターによる国内外商社との商談機会の創出 				

修正項目(案)

修正前

仁淀川地域アクションプラン

		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.10 「土佐和紙」の販売促進 (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)		
実施主体	◎手すき和紙協同組合、◎高知県製紙工業会、◎いの町紙の博物館		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	地域の伝統産業である「土佐和紙」は、楮栽培農家、用具職人、手すき和紙職人のいずれもが高齢化のため生産が減少し、土佐和紙の売上げも低迷していることから、手すき和紙及び機械すき和紙を含め、原料や担い手の確保を図るとともに、県内外での消費の拡大につなげる取り組みを行う。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
原料づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な原料生産の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・いの町による町内楮農家の現状把握のための調査実施(H29～) ・楮生産者と和紙生産者との意見交換会(R3) ・土佐市等で県内楮農家の実態調査実施(R5～) ○原料生産の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・楮ワークショップ開催(R3) ・和紙関係者による県内楮畑の機械導入事例視察(R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業による研修修了者 H28～R6(累計) : 5名(短)、4名(長) ・紙の博物館販売コーナーのリニューアル(R3) ・紙の博物館オンラインショップのリニューアル(R6)
担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○用具供給の仕組み整備 <ul style="list-style-type: none"> ・いの町備品(簀、桁)貸出規約を策定(R2) →若手後継者1名の貸出申請(R2) ○研修受け入れの体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・複数講師での短期研修の実施(R5) ・土佐和紙産地留学の実施による後継者候補の掘り起こし(R6) ○土佐和紙の技術保存方法等の構築(ユネスコ登録等) <ul style="list-style-type: none"> ・土佐典具帖紙勉強会の開催(R5、R6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙新商品開発 R5: 24件 R6: 4件 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な国産楮不足 ・楮収穫後の作業が高負荷かつ低賃金 ・後継者育成の体制強化、定着支援
付加価値づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙商品開発支援事業委託業務の実施(R5) ・土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト(R6) ○見本市や商談会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ものメッセ等の県内外への商談会等への参加(通年) ○土佐和紙のPR(土佐和紙情報発信含む) <ul style="list-style-type: none"> ・kami祭開催(H27～) ・夜の紙博開催(H29～) ・土佐和紙PRパンフレットの作成(R元) ・高知県伝統的工芸品等デジタルパンフレットを作成(R4) ・産振アドバイザー制度の活用による紙の博物館販売コーナーのリニューアル実施(R3) ・製紙工業会によるJR観光列車へのポケットティッシュ寄贈(R4) ・高知国際版画トリエンナーレ展開催(R2、R5) ・産振アドバイザー制度の活用による紙の博物館ECサイトの魅力向上及び販売促進(R6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に向けた土佐和紙の技術保存 ・新しい商品の開発 ・販売促進・販路開拓 ・土佐和紙のブランド力強化

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
土佐和紙売上高	4.76億円 (R4)	4.09億円 機械すき: 3.28億円 手すき: 0.81億円			6.1億円 機械すき: 5億円 手すき: 1.1億円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>持続可能な原料生産の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市等 <ul style="list-style-type: none"> ・県内楮農家等への実態調査で原料生産・流通量の状況を把握 ・楮生産希望者へ農地紹介(耕作放棄地減) □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・楮生産者との情報交換 ・楮生産者への文化庁補助金の紹介 <p>原料加工のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市、手すき和紙協同組合等 <ul style="list-style-type: none"> ・県内学校への楮加工作業のボランティアの紹介 				<p>楮生産に関する基礎調査</p> <p>原料生産持続化に向けた取り組み支援</p> <p>原料加工のための支援</p>
<p>研修受入体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市等 <ul style="list-style-type: none"> ・補助制度を活用した後継者育成の支援 <p>用具供給の仕組み整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■手すき和紙協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・用具の修繕等による簀桁(すけた)の確保の検討 <p>土佐和紙の技術保存方法等の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■手すき和紙協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙保存会会員の技術研修などの活動を支援 				<p>後継者の育成支援</p> <p>用具の修繕等による簀桁(すけた)の確保の検討</p> <p>土佐和紙保存会の活動支援</p>
<p>商品開発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> □県(県立紙産業技術センター) <ul style="list-style-type: none"> ・センターの設備やノウハウを活用した商品開発の技術支援 <p>見本市や商談会等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・国内外で実施される展示会等への出展支援 <p>土佐和紙のPR(土佐和紙文化発信含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、いの町紙の博物館 <ul style="list-style-type: none"> ・高知国際版画トリエンナーレ展(R8)の開催 ・kami祭、夜の紙博の開催 □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用提案、広報支援等 				<p>新商品開発の支援</p> <p>見本市や商談会等への出展支援</p> <p>土佐和紙PRの強化</p>

【用語】 ・楮(こうぞ)：土佐和紙の原料となるクワ科の植物。高知県は全国有数の楮産地であるが、最近では農家の高齢化により生産量が激減している。

・高知国際版画トリエンナーレ展：紙の博物館を会場に3年に1度開かれている世界でも有数の国際的な版画展として国内外の多くの作家や関係者などに知られている。

仁淀川地域アクションプラン

		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.10 「土佐和紙」の販売促進 (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)		
実施主体	◎手すき和紙協同組合、◎土佐和紙振興会、◎高知県製紙工業会、◎いの町紙の博物館		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	地域の伝統産業である「土佐和紙」は、楮栽培農家、用具職人、手すき和紙職人のいずれもが高齢化のため生産が減少し、土佐和紙の売上げも低迷していることから、手すき和紙及び機械すき和紙を含め、原料や担い手の確保を図るとともに、県内外での消費の拡大につなげる取り組みを行う。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
原料づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な原料生産の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・いの町による町内楮農家の現状把握のための調査実施(H29～) ・楮生産者と和紙生産者との意見交換会(R3) ・土佐市等で県内楮農家の実態調査実施(R5～) ○原料生産の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・楮ワークショップ開催(R3) ・和紙関係者による県内楮畑の機械導入事例視察(R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業による研修修了者 H28～R6(累計) : 5名(短)、4名(長) ・紙の博物館販売コーナーのリニューアル(R3) ・紙の博物館オンラインショップのリニューアル(R6) ・土佐和紙新商品開発 R5: 24件 R6: 4件 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な国産楮不足 ・楮収穫後の作業が高負荷かつ低賃金 ・後継者育成の体制強化、定着支援 ・用具製作における後継者の育成支援 ・将来に向けた土佐和紙の技術保存 ・新しい商品の開発 ・販売促進・販路開拓 ・土佐和紙のブランド力強化
担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○用具供給の仕組み整備 <ul style="list-style-type: none"> ・いの町備品(簀、桁)貸出規約を策定(R2) →若手後継者1名の貸出申請(R2) ○研修受け入れの体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・複数講師での短期研修の実施(R5) ・土佐和紙産地留学の実施による後継者候補の掘り起こし(R6) ○土佐和紙の技術保存方法等の構築(ユネスコ登録等) <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙帖紙勉強会の開催(R5、R6) ○若手の土佐和紙手すき職人による土佐和紙振興会の設立(R7) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業による研修修了者 H28～R6(累計) : 5名(短)、4名(長) ・紙の博物館販売コーナーのリニューアル(R3) ・紙の博物館オンラインショップのリニューアル(R6) ・土佐和紙新商品開発 R5: 24件 R6: 4件 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な国産楮不足 ・楮収穫後の作業が高負荷かつ低賃金 ・後継者育成の体制強化、定着支援 ・用具製作における後継者の育成支援 ・将来に向けた土佐和紙の技術保存 ・新しい商品の開発 ・販売促進・販路開拓 ・土佐和紙のブランド力強化
付加価値づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙商品開発支援事業委託業務の実施(R5) ・土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト(R6) ○見本市や商談会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ものmesse等の県内外への商談会等への参加(通年) ○土佐和紙のPR(土佐和紙情報発信含む) <ul style="list-style-type: none"> ・kami祭開催(H27～) ・夜の紙博開催(H29～) ・土佐和紙PRパンフレットの作成(R元) ・高知県伝統的工芸品等デジタルパンフレットを作成(R4) ・産振アドバイザー制度の活用による紙の博物館販売コーナーのリニューアル実施(R3) ・製紙工業会によるJR観光列車へのポケットティッシュ寄贈(R4) ・高知国際版画トリエンナーレ展開催(R2、R5) ・産振アドバイザー制度の活用による紙の博物館ECサイトの魅力向上及び販売促進(R6) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業による研修修了者 H28～R6(累計) : 5名(短)、4名(長) ・紙の博物館販売コーナーのリニューアル(R3) ・紙の博物館オンラインショップのリニューアル(R6) ・土佐和紙新商品開発 R5: 24件 R6: 4件 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な国産楮不足 ・楮収穫後の作業が高負荷かつ低賃金 ・後継者育成の体制強化、定着支援 ・用具製作における後継者の育成支援 ・将来に向けた土佐和紙の技術保存 ・新しい商品の開発 ・販売促進・販路開拓 ・土佐和紙のブランド力強化

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
土佐和紙売上高	4.76億円 (R4)	4.09億円 機械すき: 3.28億円 手すき: 0.81億円			6.1億円 機械すき: 5億円 手すき: 1.1億円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>持続可能な原料生産の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市等 <ul style="list-style-type: none"> ・県内楮農家等への実態調査で原料生産・流通量の状況を把握 ・楮生産希望者へ農地紹介(耕作放棄地減) □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・楮生産者との情報交換 ・楮生産者への文化庁補助金の紹介 <p>原料加工のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市、手すき和紙協同組合等 <ul style="list-style-type: none"> ・県内学校への楮加工作業のボランティアの紹介 ・中山間地域対策課事業の「いこうち！」を活用した原料加工の人員確保の実施を検討 	楮生産に関する基礎調査	原料生産持続化に向けた取り組み支援	原料加工のための支援	
<p>研修受入体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、土佐市等 <ul style="list-style-type: none"> ・補助制度を活用した後継者育成の支援 <p>用具供給の仕組み整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■手すき和紙協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・用具の修繕等による賃桁(すけた)の確保の検討 ・全国的用具職人の状況などを用具保存会で確認し、用具の修繕がスムーズにできるよう和紙生産者に情報共有 <p>土佐和紙の技術保存方法等の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■手すき和紙協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙保存会会員の技術研修などの活動を支援 	後継者の育成支援	用具の修繕等による賃桁(すけた)の確保の検討	土佐和紙保存会の活動支援	
<p>商品開発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> □県(県立紙産業技術センター) <ul style="list-style-type: none"> ・センターの設備やノウハウを活用した商品開発の技術支援 <p>見本市や商談会等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・国内外で実施される展示会等への出展支援 <p>土佐和紙のPR(土佐和紙文化発信含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いの町、いの町紙の博物館 <ul style="list-style-type: none"> ・高知国際版画トリエンナーレ展(R8)の開催 ・kami祭、夜の紙博の開催 □県(工業振興課、地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用提案 	新商品開発の支援	見本市や商談会等への出展支援	土佐和紙PRの強化	
<p>【用語】 ・楮(こうぞ)：土佐和紙の原料となるクワ科の植物。高知県は全国有数の楮産地であるが、最近では農家の高齢化により生産量が激減している。</p> <p>・高知国際版画トリエンナーレ展：紙の博物館を会場に3年に1度開かれている世界でも有数の国際的な版画展として国内外の多くの作家や関係者などに知られている。</p>				

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.19 仁淀川町「池川こんにやく」の生産拡大による地域の活性化 (仁淀川町)
実施主体	◎山のめぐみ舎、仁淀川町
APへの位置づけ	R7.4月
事業概要	仁淀川町伝統の「池川こんにやく」の生産性の向上と販路拡大を図るとともに、古民家を活用したカフェや宿泊事業との連携により交流人口の拡大や地域の活性化につなげる。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 山のめぐみ舎を設立(H28) →池川地場産品加工組合から池川こんにやく製造を継承 加工場の改修及び設備の整備(H30) →地域おこし協力隊起業支援補助金等を活用 山のめぐみ舎をオープン(H30) →土日予約制カフェの営業開始 こんにやくづくり体験、ランチ提供を開始(R元) クラウドファンディング活用による古民家一棟貸し宿の整備(R3) 町内事業者と連携した KILTA IKEGAWA を設立(R5) 山のめぐみ舎の体制強化・販売促進に向けた事業計画・収支計画の検討(R6) → 産振アドバイザー制度の活用 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 池川こんにやくの製造・販売による保存・継承 町内事業者との連携による認知度向上 新規顧客の獲得 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工施設の老朽化 製造及び販売に関する人材の確保 県内外での販路開拓 原料(こんにやく芋)の安定確保
販売促進・販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> KILTA IKEGAWA によるモニターツアーの実施(R5) 池川夜神楽ツアーの開始(R5) 健康食品製造販売会社(株)NINZIA とのこんにやく芋の加工食品開発に向けた検討開始(R5) 	<p>各種イベントへの出展、KILTA IKEGAWA でのイベント開催</p> <p>商談会への出展、販促活動</p> <p>新商品の開発・販売</p>
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> SNS 等を活用した情報発信(H28～) 池川こんにやくロゴの作成(H30) Web サイトの構築(H30) note を活用した KILTA IKEGAWA の情報発信(R6) (株)NINZIA の社員研修受け入れ(R6) 	<p>SNS・メディアを活用した情報発信</p> <p>見学・研修の受け入れ</p>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高	164万円 (R5)				-

※会計年度：1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>製造・販売体制の強化</p> <p>■山のめぐみ舎、仁淀川町</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工施設整備及び稼働開始 受入体制の強化、新たな人材の確保、連携 <p>□仁淀川町、県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材確保に向けた関係機関の情報提供(役場：移住施策や地域おこし協力隊など) <p>品質管理と衛生管理の確立</p> <p>■山のめぐみ舎</p> <ul style="list-style-type: none"> HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 		<p>施設整備</p> <p>施設稼働</p>		
<p>販売促進に向けた取り組み</p> <p>■山のめぐみ舎</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント出展による情報発信、KILTA IKEGAWA を活用したイベント開催 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内イベントなどに関する情報提供 <p>販路拡大に向けた取り組み</p> <p>■山のめぐみ舎</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会等への出展による販路拡大、SNS 等による販促活動 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会等の紹介、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 <p>こんにやく芋を活用した新商品開発</p> <p>■山のめぐみ舎</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者との連携強化 地域資源の掘り起こし、試作品づくり・商品化の実現 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品の味覚・官能検査による品質評価など県工業技術センターの活用提案 				
<p>魅力向上に向けた取り組みの推進</p> <p>■山のめぐみ舎</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS やメディア等を通じた PR 学校や企業等の見学や研修の受け入れ <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種取り組みにおける情報提供 				

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.20 仁淀川町「池川こんにやく」の生産拡大による地域の活性化 (仁淀川町)
実施主体	◎山のめぐみ舎、仁淀川町
APへの位置づけ	R7.4月
事業概要	仁淀川町伝統の「池川こんにやく」の生産性の向上と販路拡大を図るとともに、古民家を活用したカフェや宿泊事業との連携により交流人口の拡大や地域の活性化につなげる。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 山のめぐみ舎を設立(H28) →池川地場産品加工組合から池川こんにやく製造を継承 加工場の改修及び設備の整備(H30) →地域おこし協力隊起業支援補助金等の活用 山のめぐみ舎をオープン(H30) →土日予約制カフェの営業開始 こんにやくづくり体験、ランチ提供を開始(R元) クラウドファンディング活用による古民家一棟貸し宿の整備(R3) 町内事業者と連携した KILTA IKEGAWA を設立(R5) 山のめぐみ舎の体制強化・販売促進に向けた事業計画・収支計画の検討(R6) → 産振アドバイザー制度の活用 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 池川こんにやくの製造・販売による保存・継承 町内事業者との連携による認知度向上 新規顧客の獲得 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工施設の老朽化 製造及び販売に関する人材の確保 県内外での販路開拓 原料(こんにやく芋)の安定確保
販売促進・販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> KILTA IKEGAWA によるモニターツアーの実施(R5) 池川夜神楽ツアーの開始(R5) 健康食品製造販売会社(株)NINZIA とのこんにやく芋の加工食品開発に向けた検討開始(R5) 	
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用した情報発信(H28～) 池川こんにやくロゴの作成(H30) Webサイトの構築(H30) noteを活用した KILTA IKEGAWA の情報発信(R6) (株)NINZIA の社員研修受け入れ(R6) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高	164万円 (R5)	94万円			-

※会計年度：1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>製造・販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎、仁淀川町 <ul style="list-style-type: none"> 加工施設整備及び稼働開始 受入体制の強化、新たな人材の確保、連携 □仁淀川町、県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 人材確保に向けた関係機関の情報提供(役場：移住施策や地域おこし協力隊など) <p>品質管理と衛生管理の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎 <ul style="list-style-type: none"> HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 		<p>候補地の検討・選定</p>		<p>施設整備</p>
		<p>生産体制の構築・人員体制の強化</p>		
			<p>衛生管理の実施</p>	
<p>販売促進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎 <ul style="list-style-type: none"> イベント出展による情報発信、KILTA IKEGAWA を活用したイベント開催 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 県内イベントなどに関する情報提供 <p>販路拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎 <ul style="list-style-type: none"> 商談会等への出展による販路拡大、SNS等による販促活動 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 商談会等の紹介、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 <p>こんにやく芋を活用した新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎 <ul style="list-style-type: none"> 生産者との連携強化 地域資源の掘り起こし、試作品づくり・商品化の実現 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 新商品の味覚・官能検査による品質評価など県工業技術センターの活用提案 		<p>各種イベントへの出展、KILTA IKEGAWA でのイベント開催</p>		
			<p>商談会への出展、販促活動</p>	
				<p>新商品の開発・販売</p>
<p>魅力向上に向けた取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■山のめぐみ舎 <ul style="list-style-type: none"> SNSやメディア等を通じたPR 学校や企業等の見学や研修の受け入れ □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 各種取り組みにおける情報提供 			<p>SNS・メディアを活用した情報発信</p>	
				<p>見学・研修の受け入れ</p>

修正項目(案)

修正前

仁淀川地域アクションプラン

	分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.20 仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化 (仁淀川町)	
実施主体	◎(株)高知ウイスキー、仁淀川町	
APへの位置づけ	R7.4月	
事業概要	清流仁淀川の水と町内資源を活用し、製造したジン・ウイスキーの国内外への販路開拓に取り組むことで、地域の所得向上を図るとともに地域ブランドの確立を目指す。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
製造・販売体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)高知ウイスキーを設立(R6.4) ・蒸留施設の整備に向けた検討(R6.4～) ・飲食店営業許可(キッチンカー)の取得(R6.5) ・キッチンカーでのジン、ウイスキー、リキュール、クロップルの販売開始(R6.6) ・卸売業免許(果実酒、甘味果実酒、ウイスキー、ブランデー、スピリッツ、リキュール)の取得(R6.8) ・小売業免許(全酒類)の取得(R6.8) ・輸出入酒類卸売業免許(全酒類)の取得(R6.8) ・県外企業からの委託によるジンの試作・製造開始(R6.11～) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造開始に向けた検討(施設整備、法手続等)が順調に進展 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒類製造免許取得申請に必要な蒸留施設の整備 ・製造及び販売に関する人材の確保 ・ブランドの確立 ・副原料の調達先の確保
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業との取り引き開始に向けた検討(R6.4～) 	
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramを通じた情報発信(R6.6～) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
ジン・ウイスキー売上高	—				—

※会計年度：4月～3月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>製造・販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー、仁淀川町 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備及び稼働開始 ・受入体制の強化、新たな人材の確保、連携 □仁淀川町、県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けた関係機関の情報提供(役場：移住施策や地域おこし協力隊など) <p>品質管理と衛生管理の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 		<p>施設整備</p>	<p>施設稼働</p>	
		<p>生産体制の構築・ 人人体制の強化</p>		
		<p>衛生管理の実施</p>		
<p>ブランド力向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに手がけた各種受賞の商品(ジン神、神息ウイスキー等)づくりを生かした地域ブランドの商品開発 ・各種コンテンツとのコラボ商品の開発 <p>販路開拓・販売促進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等への出展による販路拡大、テストマーケティング等による販促活動 ・イベント出店による情報発信、町内事業者と連携したイベント開催 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の紹介、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 <p>副原料となる新素材の発掘と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の掘り起こし、試作品づくり・商品化の実現 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の味覚・官能検査による品質評価など県工業技術センターの活用提案 			<p>新商品の開発・販売</p>	
		<p>商談会・フェア等への出店、 テストマーケティングの実施 など外商活動</p>		
<p>認知度向上に向けた情報発信・プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやメディア等を通じたPR 			<p>SNS・メディアを活用した 情報発信</p>	

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.21 仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化 (仁淀川町)
実施主体	◎(株)高知ウイスキー、仁淀川町
APへの位置づけ	R7.4月
事業概要	清流仁淀川の水と町内資源を活用し、製造したジン・ウイスキーの国内外への販路開拓に取り組むことで、地域の所得向上を図るとともに地域ブランドの確立を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
製造・販売体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)高知ウイスキーを設立(R6.4) ・蒸留施設の整備に向けた検討(R6.4～) ・飲食店営業許可(キッチンカー)の取得(R6.5) ・キッチンカーでのジン、ウイスキー、リキュール、クロッフルの販売開始(R6.6) ・卸売業免許(果実酒、甘味果実酒、ウイスキー、ブランデー、スピリッツ、リキュール)の取得(R6.8) ・小売業免許(全酒類)の取得(R6.8) ・輸出入酒類卸売業免許(全酒類)の取得(R6.8) ・県外企業からの委託によるジンの試作・製造開始(R6.11～) ・<u>蒸留施設整備(R8.3月完成予定)</u> →総務省地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)採択・交付決定(R7.9) ・<u>酒類製造免許の取得に向けた取り組み</u> →産振アドバイザー制度の活用(R7) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造開始に向けた検討(施設整備、法手続等)が順調に進展 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒類製造免許取得申請に必要な蒸留施設の整備 ・製造及び販売に関する人材の確保 ・ブランドの確立 ・副原料の調達先の確保
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業との取り引き開始に向けた検討(R6.4～) ・<u>池川茶及び沢渡茶を使ったジン「ニヨドド」の販売(R7.8～)</u> ・<u>大阪・関西万博への出展(R7.8)</u> ・<u>新規取引先(オンラインショップ)との取引開始(R7.8～)</u> ・<u>ゴジラとコラボしたウイスキー「神羅」「海樹」の販売(R7.9～)</u> ・<u>新規取引先(スーパー)との取引開始(R7.9～)</u> 	
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramを通じた情報発信(R6.6～) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
ジン・ウイスキー売上高	232万円 (R6)	232万円			3,639万円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>製造・販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー、仁淀川町 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備及び稼働開始 ・受入体制の強化、新たな人材の確保、連携 □仁淀川町、県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けた関係機関の情報提供(役場:移住施策や地域おこし協力隊など) <p>品質管理と衛生管理の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施 		<p>施設整備</p>	<p>施設稼働</p>	
			<p>生産体制の構築・ 人員体制の強化</p>	
			<p>衛生管理の実施</p>	
<p>ブランド力向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに手がけた各種受賞の商品(ジン種、神息ウイスキー等)づくりを生かした地域ブランドの商品開発 ・各種コンテンツとのコラボ商品の開発 <p>販路開拓・販売促進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等への出展による販路拡大、テストマーケティング等による販促活動 ・イベント出店による情報発信、町内事業者と連携したイベント開催 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の紹介、高知県地産外商公社・関係機関との連携支援 <p>副原料となる新素材の発掘と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の掘り起こし、試作品づくり・商品化の実現 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の味覚・官能検査による品質評価など県工業技術センターの活用提案 			<p>新商品の開発・販売</p>	
			<p>商談会・フェア等への出店、 テストマーケティングの実施 など外商活動</p>	
<p>認知度向上に向けた情報発信・プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)高知ウイスキー <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやメディア等を通じたPR 			<p>SNS・メディアを活用した 情報発信</p>	

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.21 さかわの地乳(ぢちち)ブランドの再構築による販路拡大 (佐川町)
実施主体	◎(有)吉本乳業、◎(株)YOKOBATAKE-ice、地元商工業者、地元酪農家、佐川町商工会、佐川町、JA 高知県 (仁淀川地区)
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	佐川町の特産である「さかわの地乳(ぢちち)」を使い、地元の事業者が特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで、さかわの地乳(ぢちち)ブランドを再構築し、地産外商の推進による外貨の獲得を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
さかわの地乳(ぢちち)を使った加工品の開発及び販売促進	<ul style="list-style-type: none"> 農工商連携による地乳の販売促進に向けた「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置 (H22.7月) 地乳 PR 用広報・販促物を整備 (H22、23) →産振補助金の活用 地乳商品認定要綱を策定し、25 品目の商品を「地乳ブランド」として PR 開始 (H26～) 地元農産物等を使った加工品の開発 (H27～30:7 件) →佐川ものづくり支援事業補助金の活用 さかわ地乳まつりの開催 (H27～) 畜産アドバイザーを導入して、地乳を活用した加工品開発や販促活動について協議 (H26、H27:2 回) 地域資源を活用した効果的なイベント展開を検討 →産振アドバイザー制度の活用 (H28: 3 回) 「地乳プロジェクト」の方向性、体制強化、ブランド再構築に向けた検討を実施 →産振アドバイザー制度の活用 (R6:5 回) [(株)YOKOBATAKE-ice(横畠商店)] 事業計画のブラッシュアップ →産振アドバイザー制度の活用 (R6:5 回) 法人化(R6.12.26 設立) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳を活用した商品販売により地乳の認知度が向上している。 地乳を使用する県外の飲食店も増えており、販路が拡大している。 地乳プロジェクト推進会議を再開(R6.8.23) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳を活用した新商品の開発及び商品の PR 強化 地乳ブランド確立に向けた推進体制強化 ◎(有)吉本乳業 持続可能な経営基盤の確立・強化 衛生管理体制の強化
牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化及び販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業を活用して製乳設備を増設 (H26) HACCP アドバイザーによる現地指導を実施 (H28:1 回) さかわの地乳製造施設を整備 (H28) →産振補助金の活用 地乳製品の販路開拓・販売拡大に向けた商談会への出展 (H29～) 宅配キャンペーンの実施 (R3) →高知県地域産品地産地消推進事業費補助金の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大に向けた商談会等での販売促進 物価高騰による商品の値上げから、一般消費者への宅配契約の減少やスーパー等での売上が伸び悩む ◎(株)YOKOBATAKE-ice 現状の加工場、製造機械では生産能力が限界に達しており、これ以上の販路拡大が困難

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)牛乳類商品販売額※	1.15 億円 (R4)	1.16 億円			1.57 億円
(2)牛乳加工品販売額※	2,269 万円 (R4)	3,782 万円			6,000 万円

※会計年度：(1) 8月～7月、(2) 1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>牛乳加工品増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <p>■(株)YOKOBATAKE-ice</p> <ul style="list-style-type: none"> R7 年度工場新設及び製造機械の整備 新たな人材の雇用・育成 HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振補助金の活用、各種研修会への参加呼びかけ 	<p>産振補助金審査会</p> <p>法人化</p>	<p>施設整備</p>	<p>稼働</p> <p>衛生管理の実施</p>	
			<p>生産力向上に伴う雇用創出</p>	
			<p>商品開発・販売</p>	
<p>牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化及び販路拡大</p> <p>■(有)吉本乳業</p> <ul style="list-style-type: none"> HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 経営改善策の検討 <p>■(有)吉本乳業、(株)YOKOBATAKE-ice、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳プロジェクト推進会議の再開・継続：町内事業者への積極的な参画の呼びかけによる推進体制の強化、宣伝方法の検討、販促物の作成、地乳 PR イベント等の開催 商談会等への出展、プロモーション活動の実施 加工品の開発及び磨き上げ <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供、セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し 産振アドバイザー制度の活用提案 			<p>衛生管理の実施</p> <p>経営改善の実施</p> <p>販売促進の体制強化、地乳ブランドの PR 強化</p> <p>さかわの地乳の県内消費拡大・県外量販店等への販路拡大</p> <p>さかわの地乳(ぢちち)を使った加工品の磨き上げ・開発</p>	

仁淀川地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.22 さかわの地乳(ぢちち)ブランドの再構築による販路拡大 (佐川町)
実施主体	◎(有)吉本乳業、◎(株)YOKOBATAKE-ice、地元商工業者、地元酪農家、佐川町商工会、佐川町、JA 高知県 (仁淀川地区)
AP への位置づけ	H21. 4月
事業概要	佐川町の特産である「さかわの地乳(ぢちち)」を使い、地元の事業者が特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで、さかわの地乳(ぢちち)ブランドを再構築し、地産外商の推進による外貨の獲得を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
さかわの地乳(ぢちち)を使った加工品の開発及び販売促進	<ul style="list-style-type: none"> 農工商連携による地乳の販売促進に向けた「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置 (H22.7月) 地乳 PR 用広報・販促物を整備 (H22、23) →産振補助金の活用 地乳商品認定要綱を策定し、25 品目の商品を「地乳ブランド」として PR 開始 (H26～) 地元農産物等を使った加工品の開発 (H27～30:7 件) →佐川ものづくり支援事業補助金の活用 さかわ地乳まつりの開催 (H27～) 畜産アドバイザーを導入して、地乳を活用した加工品開発や販促活動について協議 (H26、H27:2 回) 地域資源を活用した効果的なイベント展開を検討 →産振アドバイザー制度の活用 (H28: 3 回) 「地乳プロジェクト」の方向性、体制強化、ブランド再構築に向けた検討を実施 →産振アドバイザー制度の活用 (R6:5 回) [(株)YOKOBATAKE-ice(横畠商店)] 事業計画のブラッシュアップ →産振アドバイザー制度の活用 (R6:5 回) 法人化(R6.12.26 設立) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳を活用した商品販売により地乳の認知度が向上している。 地乳を使用する県外の飲食店も増えており、販路が拡大している。 地乳プロジェクト推進会議を再開(R6.8.23) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳を活用した新商品の開発及び商品の PR 強化 地乳ブランド確立に向けた推進体制強化 ◎(有)吉本乳業 持続可能な経営基盤の確立・強化 衛生管理体制の強化
牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化及び販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業を活用して製乳設備を増設 (H26) HACCP アドバイザーによる現地指導を実施 (H28:1 回) さかわの地乳製造施設を整備 (H28) →産振補助金の活用 地乳製品の販路開拓・販売拡大に向けた商談会への出展 (H29～) 宅配キャンペーンの実施 (R3) →高知県地域産品地産地消推進事業費補助金の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大に向けた商談会等での販売促進 物価高騰による商品の値上げから、一般消費者への宅配契約の減少やスーパー等での売上が伸び悩む ◎(株)YOKOBATAKE-ice 現状の加工場、製造機械では生産能力が限界に達しており、これ以上の販路拡大が困難

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)牛乳類商品販売額※	1.15 億円 (R4)	1.16 億円			1.57 億円
(2)牛乳加工品販売額※	2,269 万円 (R4)	3,782 万円			6,000 万円

※会計年度：(1) 8月～7月、(2) 1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>牛乳加工品増産に伴う生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <p>■(株)YOKOBATAKE-ice</p> <ul style="list-style-type: none"> R8年度工場新設及び製造機械の整備 新たな人材の雇用・育成 HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産振補助金の活用、各種研修会への参加呼びかけ 	法人化	産振補助金審査会	施設整備	稼働 衛生管理の実施
			生産力向上に伴う雇用創出	商品開発・販売
<p>牛乳製造施設の持続可能な経営基盤の確立・強化及び販路拡大</p> <p>■(有)吉本乳業</p> <ul style="list-style-type: none"> HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 経営改善策の検討 <p>■(有)吉本乳業、(株)YOKOBATAKE-ice、地元商工業者、佐川町、佐川町商工会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地乳プロジェクト推進会議の再開・継続：町内事業者への積極的な参画の呼びかけによる推進体制の強化、宣伝方法の検討、販促物の作成、地乳 PR イベント等の開催 商談会等への出展、プロモーション活動の実施 加工品の開発及び磨き上げ <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供、セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し 産振アドバイザー制度の活用提案 		衛生管理の実施	経営改善の実施	販売促進の体制強化、地乳ブランドの PR 強化
			さかわの地乳の県内消費拡大・県外量販店等への販路拡大	さかわの地乳(ぢちち)を使った加工品の磨き上げ・開発

[新規]No.16 地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化

<仁淀川地域本部>

分野/実施地域	商工業 / 日高村
実施主体	◎(株)ひだか林業&ITS、日高村
APへの位置付け	R8.4月

第5期(R6~R9)			
指標	出発点	R8目標	R9目標
粉炭の売上高 (10月~9月)	-	15百万円	18百万円

会計年度：R7.10~R8.9

事業概要

日高村の豊富な未活用バイオマス資源(林地残材、竹材、トマト茎葉、食品残渣等)を粉炭として有価物化し、土壌改良、水質浄化、食品添加物、災害時エネルギーなど多様な用途で、県内外への販路拡大を目指すとともに、資源循環を図り、地域の活性化につなげる。



15

主なスケジュール	R7	R8	R9
粉炭の製造販売及び体制の強化	実地研修	施設整備	製造・販売
			人材確保
販売拡大に向けた取り組み			技術向上研修
			試験栽培

これまでの取り組みと課題

【これまでの取り組み】

- (1)日高村の地域おこし協力隊として起業に向けた活動(R3~R5)後、(株)ひだか林業&ITSを創業し(R5.7)、間伐材収集事業を展開するなかで、林業家や建設会社等、地域内約40社の事業者との信頼関係を構築し、年間約1,000tの間伐材の売買取引を開始(R5~)
- (2)間伐材を取り扱う中で、大量の枝葉や林地残材等の未活用や放置が進む状況について、解決策を模索(R5~)
- (3)未活用バイオマス資源を効率的に炭化可能な「山仙プール式炭化平炉」((有)山本粉炭工業の特許技術)に着目し、導入を決定。技術導入に向け、同社での実地研修を実施(6ヶ月間)
- (4)地域経済循環創造事業交付金(総務省)を活用し、施設整備(R8.1)
- (5)製造販売開始(R8.2 予定)



【課題】

- ・販路拡大に向けた根拠データ(土壌改良材としての有用性)の収集
- ・安定した販路の確保および拡大に向けて、粉炭の品質の安定や、用途の異なる粉炭を製造するための技術の向上が必要

R8年度(第5期ver.3)における取り組みの内容

(1)製造販売及び体制の強化

- ・未活用バイオマス資源を活用した製造販売
- ・新たな人材確保(地域おこし協力隊等)
- ・製品品質の安定等に向けた専門家による技術向上研修の受講、修得(産振アドバイザー制度の活用)



(2)販路拡大に向けた取り組み

- ・活用状況等によるデータ収集のため、村内事業者と連携した農作物等の試験栽培の実施
- ・食品添加物等、土壌改良材以外の用途活用にに向けた製造技術の向上
- ・活用用途に合わせた原材料の調達ならびに調達量の拡大

